

事務局長の就任挨拶



本年4月1日から、警察官を定年退職し、当センターに就任しております。被害者支援については、これまで直接業務として携わったことはありませんが、非常にデリケートでメンタルな仕事です。事件等の被害者やご家族にとっては、その瞬間から時間が止まったままの状態です。この方々の早期回復を願い、ボランティアの方は一生懸命です。犯罪被害者支援の活動を、広く県民の方に知っていただくとともに、被害者等が安心して暮らせるため頑張ります。今後とも、県民の皆様のご理解とご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

支援自販機設置・本のご寄付のお願い

設置場所の提供をしていただける企業・団体を募集しております(自販機設置の新規・置き換え費用は無料です)。



売上金の一部は犯罪被害者、交通事故被害者等の支援として寄付されます。



詳しくは事務局まで TEL 017-718-2085 FAX 017-718-2098

賛助会員を募集しています

当支援センターは皆様の賛助会費や寄付金、助成金等によって運営されております。活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。

- ・法人・団体 1口 10,000円 (何口でも可)
- ・個人 1口 3,000円 (何口でも可)
- ・寄付 金額の定めはありません

賛助会費や寄付金のお振り込み先

- 青森銀行 県庁支店 普通 1046100
- みちのく銀行 青森支店 普通 2026608
- 郵便局 口座記号番号 02210-6-133553
- 振込先名称 (社)あおもり被害者支援センター

事務局へご連絡ください。振込手数料のかからない指定振込用紙を送付いたします。

当センターへの寄付金は、公益法人に対する寄付として優遇税制が適用されます。

相談電話

無料・秘密厳守
受付日・時間

犯罪や交通事故被害

017-721-0783

月・火・木・金 午前10時から午後5時まで (年末年始、祝日を除く)
水曜のみ 午前10時から午後9時まで

りんごの花ホットライン
(性暴力被害)

017-777-8349

月・水 午前10時から午後9時まで (年末年始、祝日を除く)
火・木・金 午前10時から午後5時まで

事務局

青森県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人あおもり被害者支援センター

〒030-0822 青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階
TEL: 017-718-2085 FAX: 017-718-2098
URL <http://www.aomori-vs.com> E-mail info@aomori-vs.com



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



トラウマの行方～心の傷をどこで癒すか?～

弘前厚生学院学院長
青森県臨床心理士会会長
公益社団法人あおもり被害者支援センター理事
関谷 道夫



「立ち上がることができません。食事も作れなくて何も食べずにいます！」
アパートで一人暮らしをしている女子学生は、電話口で弱々しく登校できない理由を述べた。いつもは笑顔できちんと登校してくる学生なので、「ひょっとしたら?」と思って連絡をとったものである。

これには伏線があった。あおもり被害者支援センターの山内久子理事の講演会を、前日に、学院内で開催していた。山内理事は、大学生であった娘さんが突如殺された時の心情・思いを心に染み入るように話してくれていた。亡くなったのが同年齢の女子学生だったこともあって、学生たちは、涙を流し、嗚咽にむせびながら聞き入っていた。

人は誰でもそうだが、辛いストレス・イベントを密かに抱え込んでいるものである。登校できなくなった女子学生にも、悲惨な忘れ難い記憶があった。自分の目の前で、自分以外の家族全員を亡くすという過酷な出来事を経験していた。時間的にみれば、かなりの日数がたっているのだが、その記憶は、時折「生々しい強烈な記憶(PTSD)」として現在の生活をも脅かしていた。強い感情に彩られた記憶は、心身に大きなダメージを与え、日常生活を分断・停止してしまうこともあった。

これまでの経験・学習で、女子学生は、有害的なストレスを上手に回避することも、有効なストレス・コーピング(対処)の方法も、かなり身に付けてきていたが、予想を上回ることは往々にしてある。女子学生の体験と山内理事のお話とは、まったく別の次元のものであったが、「生死にかかわる辛辣な体験」という点では、同一地平の強烈なエピソードであった。女子学生には、死を前にした家族の姿、直前の言葉が何度も脳裏に登場していたに違いない。再体験・フラッシュバックの可能性を想定して、事前に、本人と話し合っ、参加の是非を検討していたのだが、学生は「チャレンジしたい。」「少しずつ慣れていきたい。」という積極的な姿勢を示していた。「系統的脱感作」のように少しずつ馴化していきたいという思いがあった。

いわば「トラウマの持つ再現傾向は非常に強力」ということになるのかもしれないが、本人にとっても周りの者にとっても、トラウマの理不尽な強さは予想以上のものであった。往々にして、人は、自分の意識や意思で、自分のこころからだをコントロールできると考えがちだが、多くの場面で、自分の力を越えた大きな渦の中に飲み込まれていくことは少なくない。自分の意思と関係なく、「体が思うように動かない」「意欲がまったく起きない」「強い痛みや発熱が止まらない」「死にたいと思ひ込む」等の状態に陥ることは、極め付きの不安体験でもある。

女子学生の話に戻れば、すぐさまアパートまで出向いて、馴染みの「かかりつけ医」のいる精神科の病院まで連れて行った。先生も良くわかっていて、ただちに入院・治療することになった。こんな時は、本人自身が「休養が一番!」ということを経験で知っている。ホテルのように何日か入院し、元気な姿で帰ってきた。

「あなたは抱えきれない問題を持った時、どこに相談にいきますか?」

自分や家族が本当に辛い悩みを抱えた時に、心から安心して相談できる機関・解決への十分なスキル＆ノウハウを有している組織は、いざ見渡せば、極めて少ないことがわかる。殺人・傷害、強姦、強制わいせつ、DV、ストーカー、いじめ、虐待、セクハラ・パワハラ…世間では、毎日のようにハードな凶悪事件が起きている。事件未済の潜在的な出来事は数限りなくあるだろう。これらの被害者はどのようにしてトラウマ・心の傷を解決しているのだろうか?その苦しみ、痛み、辛さを誰にも話さず、悶々としている人がほとんどなのかもしれない。性犯罪の被害者ならば尚更のことである。時代は進歩しているようで進歩していない。心のケアについては惨憺たる気持ちになることがある。

犯罪被害者等に対する社会的・制度的なサポート体制の構築は、現代の喫緊課題だと認識している。多くの個人・団体の支援を受けて「あおもり被害者支援センター」は設立された。青森県臨床心理士会も全面的に協力していきたいと考えている。

惜しむらくは、まだまだ十分に周知・活用されていないのが残念である。さいごにPR!「どうぞ、気兼ねなく支援センターのドアを開けてください!」「あなたにずっと寄り添っていきます!」

犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人あおもり被害者支援センター

■平成 26 年度の活動報告

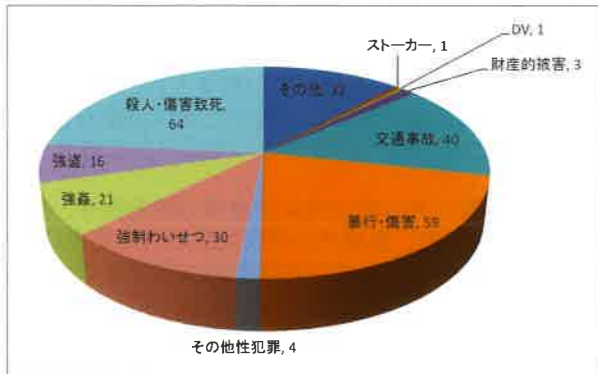
平成 27 年度総会を開催

平成 27 年 5 月 20 日、県民福祉プラザにて、県警本部警務部教養課長 齊藤淳氏、県環境生活部県民生活文化課副参事 白濱守氏を招き、本年度 第 1 回総会を開催。平成 26 年度事業報告と収支決算報告が了承されました。

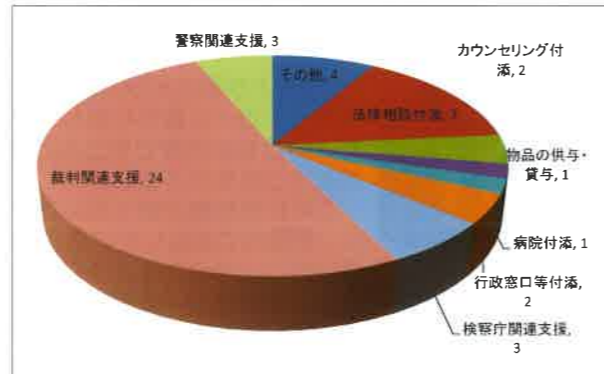
なお、本年 3 月 20 日の総会では、平成 27 年度事業計画、収支予算案が了承されています。



平成 26 年度電話・面接相談の件数内訳



平成 26 年度直接的支援件数内訳



平成 26 年度決算及び平成 27 年度予算

(単位：円)

科目	平成26年度 決算	平成27年度 予算
収		
受取会費	3,249,000	3,500,000
受取自治体助成金	8,000,000	2,000,000
受取その他助成金	4,018,436	3,500,000
受取寄付金	1,720,499	1,500,000
受取委託金	3,643,000	4,000,000
受取利息	1,072	1,000
経常収益合計	20,632,007	14,501,000
費		
事業費		
人件費	4,641,781	4,021,000
相談活動費	1,208,748	1,050,000
直接支援活動費	214,254	420,000
広報啓発活動費	3,067,683	2,500,000
相談員養成・研修費	1,285,199	1,065,000
調査・研究活動費	151,412	170,000
自助グループ支援費	339,268	340,000
その他事業費	7,174,676	1,505,000
事業費計	18,083,021	11,071,000
管理費		
人件費	1,989,336	1,759,000
その他管理費	1,550,957	1,671,000
管理費計	3,540,293	3,430,000
経常費用合計	21,623,314	14,501,000
当期経常増減額	-991,307	0
正味財産期首残高	2,504,585	1,513,278
正味財産期末残高	1,513,278	1,513,278

性暴力被害専用相談電話

『りんごの花ホットライン』

昨秋の開設から8ヶ月が経ちました。県民に広く知っていただく為に、ポスターやカードの配布をお願いしているところです。当センターまでお知らせ頂ければ、担当者がお届けに上がり準備させていただきます。皆様の応援、よろしくお願い致します。

現在、青い森鉄道（東青森駅～三戸駅までの12駅舎）、弘南鉄道（全駅）、JR五所川原駅の御協力を頂いて、ポスターを掲示しております。

支援員第6期生

県内から広く応募がありました。6月30日に開講式が行われます。



■お知らせ

支援車両の導入

日本財団の助成により支援車両が導入されました。車内でも面接が出来るようになり、支援に活かされています。



* 車内はこんな感じ

東京で表彰

平成 26 年度「命の大切さを学ぶ教室感想文コンクール」で、青森市立油川中学校2年の工藤千夏さんと黒石商業高等学校3年の佐藤絢香さんが金賞を受賞しました。

尚、佐藤絢香さんは、[第4回命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール]で、警察庁長官官房長賞を受賞し、2月7日に都内で表彰されました。

(2作品を別紙で紹介しています)

ポスター、チラシ、カードを作りました



(チラシ)

(ポスター)

(カード)

広報啓発に活用されています。

6月28日予定の「はちのへホコテンキャンペーン」、11月6日県民フォーラムの際、ご会場の方々へ配布させていただきます。

黄色いレシート 毎月11日

イオンの「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています。毎月11日、イオン青森店での買い物の際は、ご協力をお願いします。

平成 26 年度
キャンペーンの様子



2月
八戸：「わいぐ」
パネル展に出展し
被害者支援活動を
PRした！



11月8日(土)
青森：イトーヨーカドー

1月10日(土)
サンロード青森

皆様のご支援、ご協力をこころより感謝申し上げます

賛助会員 (法人・団体) 会員 (敬称略・50音順)

青森地区

青森朝日放送(株)
 (公社)青森観光コンベンション協会
 青森韓国民団
 (株)青森銀行 青銀地域開発課
 (一社)青森県安全運転管理者協会
 (公社)青森県医師会
 (公社)青森県看護協会
 青森県警察本部捜査第一課互助会一同
 (一財)青森県交通安全協会 青森交通安全協会
 青森県交通安全母の会連合会
 (社)青森県指定自動車教習所協会
 青森県自動車車体整備協同組合
 (一社)青森県自動車整備振興会
 青森県自動車整備青森協議会
 青森県トラック協会青森支部
 (公社)青森県バス協会
 青森県遊技業協同組合
 (社福)青森市社会福祉協議会
 青森総合警備保障(株)
 青森地区公益事業連絡協議会
 青森南警察官友の会
 青森ワシントンホテル
 (株)アメニコード
 (株)石田自動車
 いすゞ自動車東北(株)
 栄作堂本店
 (株)カネマツ 青森支店
 (株)国際ホテル
 (株)小鹿産業
 (株)サンエイ
 産経新聞社青森支局
 (株)青陽
 ガイドドリンコ(株) 東北第二営業部
 (株)たいよう共済青森支店
 (株)東邦商会 パチンココスモ
 東洋建物管理(株)
 (社福)特誠福祉会サービスセンターおきだて
 (医)白鷗会まちだ内科眼科クリニック
 (株)番地銘石
 東日本電信電話(株) 青森支店
 (株)ヒグチ
 平内地区交通安全協会
 藤林電気(株)
 (株)北大青森店
 北方商事(株)

ホテル青森
 みちのくキャンティーン(株)
 (株)みちのく銀行総務部
 明和興産(株)
 ヤマト運輸(株) 青森主管支店
 ロードサービス24青森
 (有)ロックハウス青森
 ワタナベサービス(株)

弘南地区

(一財)愛成会弘前愛成会病院
 (株)朝日会館
 アップルウエーブ(株)
 NPO法人 あいねっと
 (株)キング
 (株)工藤工務所
 黒石警察署 総務課
 黒石地区交通安全協会
 猿賀神社
 (株)タムラオートサービス
 津軽警備保障(株)
 (株)津軽新報社
 東奥信用金庫
 (株)原田ペンディングサービス
 弘前ガス(株)
 弘前警察官友の会
 弘前交通安全協会
 (一社)弘前自動車協会
 弘前商工会議所
 弘前地区安全運転管理者協会
 弘前地区安全運転管理事業主会
 弘前露店商業組合
 (株)ミナミ:Pクラブヨーデル駅前店
 (株)ミナミ:Pクラブ
 (株)ムジコ・クリエイト

西北五地区

板柳警察官友の会
 板柳地区安全運転管理事業主会
 板柳地区安全運転管理者協会
 (株)伊藤鋳業
 (株)稲垣整備工業
 (株)今与建設
 (医)敬生会 越前胃腸科外科医院
 齋勝建設(株)
 (株)斉藤運輸
 (株)斎藤新聞店

(社福)一真会さくら保育園
 (株)サン・コーポレーション
 つがる警察官友の会 事務局
 つがる地区交通安全協会
 (株)マル五衛生社
 みちのく建物管理(株)
 渡部胃腸科内科

三八上北地区

青森県自動車整備三沢協議会
 石田歯科医院
 (株)エーアンドエフ
 (社福)木崎野福祉会 おおぞら保育園
 (株)御菓子のみやきん
 (株)尾形精肉店
 (医)弘仁会 於本病院
 古川歯科医院
 五戸警察官友の会
 五戸ライオンズクラブ
 五戸ロータリークラブ
 三戸警察官友の会
 七戸警察官友の会
 七戸地区安全運転管理者協会
 七戸地区安全運転管理事業主会
 七戸地区少年補導連絡協議会
 七戸町防犯協会
 下田タウン(株)
 太子食品工業(株)
 (株)高橋電子製作所
 田中建設(株)
 中栄コンクリート工業(株)
 長老園 特別養護老人ホーム長老園
 (株)デーリー東北新聞社
 (株)東北企画
 十和田警察署
 (株)十和田中央モータースクール
 日本原燃(株)
 (株)ニューテック
 野辺地警察官友の会
 野辺地地区安全運転管理者協会
 野辺地地区安全運転管理事業主会
 橋本電気工業(株)
 八戸警察官友の会
 (一社)八戸自動車協会
 八戸地区交通安全協会
 (株)八戸電工
 八戸ライセンススクール

命の大切さを学ぶ教室をきいて

青森県立黒石商業高等学校 3年 佐藤 絢香

山内さんの第一印象は、どこにでもいそうな普通の女性だった。しかし、話題は冒頭から、事件に関する詳しい説明だった。事件の真相を知っている遺族の方が当時の気持ちとともに話をして下さったことで、より鮮明に内容が頭に入り、心に強く響いた。気持ちの部分伝えられるだけで、ここまで心に残るのかと驚いた。話の一つ一つが印象に残ったが、同じ学生として特に忘れられない話があった。

山内さんが娘さんの遺品を整理した際に、出てきた教材のあるページに日付が書かれていたという話だ。私もその日勉強した部分まで教科書に印をつける習慣がある。自分と同じだと共感したが、「娘はもう授業を受けることができない。」という山内さんの言葉が胸に刺さった。普段の学校生活で、面倒だと思える授業や、テストが嫌で学校に行きたくない時がある。そう思うことさえも私は恵まれていると感じた瞬間だった。毎日学校へ行き、友達と会い、授業を受けて部活動へ行く。意識して考えなければこの当たり前の幸せに気付くことができないかもしれない。

私が高校2年生の夏、母が病であることがわかった。普段から体調を崩すことのない母が、入院すると言ってきた。「何の病気？」と尋ねた。「がん」と母は答えた。

その後の会話はあまり覚えていないが、母の前で泣かないように必死だったことは覚えている。手術が失敗したら、がんが進行していたらと思うと、ただただ恐ろしかった。その時の私は、母が死んでしまうという気持ちが強かった。空いた時間に考えることはいつも、もっと家事を手伝っておけばよかった、もっと母の負担を減らせばよかった、もっと母との時間を大切にすればよかった、もっとありがとうと言えばよかったと、後悔しかでてこなかった。毎日、後悔と辛さと怖さで泣きそうになったが、家族と友人の支えでなんとか乗り越えることができた。母も手術後、体調が回復し、今まで通りの生活ができるようになった。

この経験から私は、家族の大切さを身をもって知ることができた。家族を失う気持ちは体験した本人ではないと理解できないはずだ。私も母が倒れてはじめて、後悔の念に駆られたり、夜も眠れないほどの不安を知った。母が元気になったからこそ、苦しみから解放されたが、今でも当時のことを思い出すと涙が出そうになる。個人差はあるだろうが、家族を失いそうになるだけで、肉体的にも精神的にも苦しみ追い詰められるのに、娘を理不尽にも殺害された山内さん家族、親族、友人達はどれほどの苦しみを味わったか想像もできない。山内さんが話して下さった、姉を奪われた妹さんの深い悲しみ、メディアや周囲の人々からの心ない言葉、沢山の辛い出来事があった中でも、娘さんのことをずっと心に残している人達がいることへの喜び、そのすべてが心に残った。悲しいことを誰かに話すたびに、その時の辛さや苦しさを思い出してしまうことは私も知っている。いくら時間がたっても辛かった気持ちは絶対に消えない。それでも、命の大切さを私達に教えるために話をして下さった山内さんにとっても感謝している。そして今回の山内さんの話を忘れないことが大切だ。命を大切にすることは当然だ。今生きていることに感謝し、今一度、自分の大切な人に感謝の気持ちを伝えなければと思う。全く後悔のない人生は無理だろうが、せめて自分で納得できる人生を送りたい。母の時のような後悔を二度としないよう、精一杯自分のすべきことをしていきたいと思う。

「命の大切さを学ぶ教室」に参加して

青森市立油川中学校 2年 工藤 千夏

今まで私は、「命が大切だ」とか「命はありがたい」とかたくさんの方が言っていたのを聞いてきましたが、ただぼくぜんとう「命が大切なんだ」ということだけを、思ってきたにすぎませんでした。でも、田代さんの講話から、「命はもちろん大切で、その人だけの命ではない。私の周りにはいる家族や友達など私に強く関わり、私を愛してくれる人達、すべての人にとって大切なんだ」とわかり、強く実感しました。

ダウン症の尚己君を田代さん家族が支えながら楽しく生きている姿を写真で見せていただいたときに、いつ自分が事故・殺人にまきこまれてもおかしくないと感じました。こんなに幸せそうに、普通に暮らしている中で、突然TVニュースのような事件に巻き込まれてしまうのだと知り、ショックを受けました。

また、尚己君の死後も尚己君のあったはずの未来のために、つらく悲しい気持ちになっても、最後まであきらめずに訴え続けた田代さん家族をみて、家族の優しさやありがたさ、そして深く、命の大切さを理解できました。

講話の中で目を閉じたとき、「大切な人を思い浮かべてください」との問いかけに、家族や友達などの大切な人が思い浮かびました。だから、この命は自分一人で作ってあげてきたものではなく、周りの人たちに支えられて作られてきたんだと改めて感じることができました。

これからは、自分にとってつらいことや悲しいこと、苦しいことがあっても、田代さんの講話を思い出して、自分の命と支えてくれる周りの人の命を大切に、簡単に死に負けることが、絶対にならないように生活したいと思います。また、交通事故による被害が、一つでも無くなるように、自分が交通ルールを守るのはもちろん、自分の家族や友人にも、無事故無違反を呼びかけていきたいと思っています。